

# 産地 直送便



発行（農）山形おきたま  
産直センター  
山形県南陽市漆山 1068  
TEL 0238 (47) 7338  
<http://www.okitama.net/>  
2010.8.1 発行  
責任者 星 隆之

◇◇◇山形おきたま産直米 ◇おきたま BOX ◇ふるさと便◇◇◇

## 年間契約継続のお願い

☆2010 年産米 / お届け期間 2010 年 10 月～2011 年 9 月

現在お届けしている内容で、継続ご希望のお客様はご連絡の必要はございません。自動継続とさせていただきます。

お届け中止、お届け内容(種類・重量など)の変更をご希望のお客様は各組織又は、山形おきたま産直センターまでご連絡下さいますようお願い致します。



### おきたまの葉月



- 『お米』 お盆前には稲穂が出始めますが、近年減反により荒地が増えるに従って害虫の数も増えているようです。  
この時期が特に狙われやすく田圃の周囲や道路の草刈りなどに気を配ります。カメムシ対策のチラシを組合員に配布するなどして、個々に対応にあたります。
- 『野菜』 スイカ、カボチャの出荷が 8 月中旬で終わります。収穫後は株の抜き取りやつるの片づけを行い、秋野菜の準備をします。  
8 月末頃にキャベツ・白菜の苗を植え、大根・みずなの播種(種まき)をします。
- 『果物』 ぶどうの収穫作業が始まります。  
糖度計で甘さを計りながら、食味優先の収穫を行います。  
8 月上旬頃から主力品種であるデラウェアなどの出荷が始まり、下旬頃から大粒の高尾などの出荷が始まります。

★今年も『高級大粒ぶどう』ギフトを企画致しました。



お休みや変更などのご連絡は、  
お届け日の 10 日前までにお願い致します。

## 東北現地検討会に参加

7月24日と25日の両日秋田県大潟村とにかほ市にて、東北各県から有機栽培を中心とした生産者が集い栽培技術の研修と意見交換を行いました。当センターからは、17名の生産者が参加しました。

24日は、大潟村（日本第2位の湖だった八郎潟を干拓した、オランダと同じく土地が海面より低い）の有機栽培圃場を視察しました。いずれの圃場も雑草対策は、各自工夫を凝らした除草機を使用し、一定の成果を勝ち取っていたようです。ひとつ残念だったのは、当センターが取組んでいる「田んぼの生きもの」を営農技術（抑草や土を肥沃にする等）に生かすという視点の取組がみられなかったことです。

25日は、にかほ市の農業施設関連の視察を行いました。にかほ市は鳥海山の麓に位置しています。同市では水が非常に冷たく冷害の被害を防ぐために、昭和12年から水路の幅を広くし段差を設け水の流れを遅くし太陽の熱で水を温める「温水路」群という施設を見学しました。この水路に多くの農民の努力と情熱を感じてきました。



写真 生産者が独自に改良した除草機



写真 にかほ市の温水路



写真 有機栽培圃場を視察する参加者